

## ようこそ雨水市民の会へ

地球規模で大洪水、大渇水が頻発しています。大地震や大津波で水道が壊滅する事態も起きています。日本も例外ではありません。また、世界では6億6300万もの人たちが安全な飲み水を得られていません(2015年現在)。私たちは、雨を活かすことによって人類が直面するこうした水位危機を解決していきたいと考えています。

雨は、生命の元であり、文化を育ててきました。NPO法人雨水市民の会は、この雨に学び、感謝し、雨を活かすことが当たり前になる社会を目指し、雨活学習(雨の環境学習)プログラム、雨の絵本ひろばなどの事業のほか、雨水ネットワークやバングラデシュ・スカイウォータープロジェクトへの参画などの活動を実施しています。

あなたも「雨水市民の会」に参加して、雨との新しい付き合い方をしてみませんか。環境に関心のある方ならだれでも活動に参加できます。あなたの入会を心からお待ちしております。きっと雨の日が楽しくなりますよ。

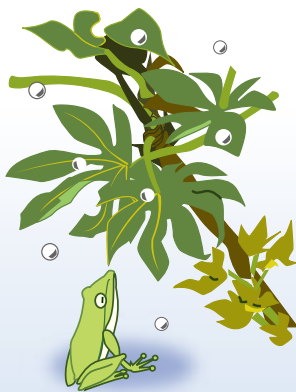
2016年7月

### 我々の目指すもの

- 1 雨は流せば洪水、ためれば資源。雨水タンクをまちに無数につくって身近な水源をつくりましょう。雨を浸透して地下水を涵養しましょう。雨をためて、使って、浸透することにより、洪水や渇水を防ぎ、地域の水循環を取り戻しましょう。
2. ライフライン(上下水道など)依存からライフポイント(雨水タンクや井戸など)を整備して、災害に強いまちを目指します。
3. 雨を大切にすくらしと文化を究め、未来人に伝えていきます。雨の環境学習を通して豊かな感性を取り戻し、地球人と未来人の目で雨を活かす人材を育てていきます。
4. 世界の空はつながっています。地球規模できれいな大気を取り戻し、雨を活かして世界の飲み水の危機を救います。戦争のタンク(戦車)より平和のタンク(雨水タンク)を!”



## 雨水活用は地球を救う



## 雨水市民の会

People for Rainwater

### “雨づくし”事務所にきてみて!

雨水市民の会の事務局は、東京の下町、墨田区向島にあります。昭和のレトロな雰囲気、鳩の街通り商店街に面して、入口にある大きな緑色の天水桶(下段参照)と雨水タンク「天水尊」が迎えてくれます。ここでは、雨の環境学習や雨の文化等に関する“雨づくし”のさまざまな取り組みをしています。地元民でなくても、会員でなくても大歓迎です。

つなぐ場づくり「雨カフェ」では、雨の音を楽しみながら、有機森林栽培のコーヒーを味わえます。思いがけず地域活動をする団体メンバーと近所のおばちゃんとの会話がはずんだりしています。雨の絵本ひろばは、雨の絵本を中心に自然や生命の大切さを伝える絵本を約800冊収蔵しています。子どもたちに絵本の読み聞かせを行っています。

他にも様々なイベントを実施しています。HPでチェックしてからお越し下さい!



### ■墨田に里帰りした天水桶

江戸時代に本所(現在の錦糸町)で、味噌醬油問屋を営んでいた松田家が、火事の多かつたまちで店を守るために1853年(ペリー来航の年)に鑄造したものです。関東大震災と戦災により店はなくなりましたが、子孫は代々これを受け継ぎ、目黒、成城へと住まいの移転とともに天水桶も移されました。現在の当主である松田宏さんから「墨田に里帰りさせたい」という申し出を受けて雨水市民の会が貰い受け、2015年5月に162年ぶりに戻ってきました。



### お問合せは・・・

特定非営利活動法人 **雨水市民の会 事務局**



〒131-0033  
東京都墨田区向島 5-49-3  
TEL & FAX : 03-6657-1416  
E-mail : office@skywater.jp  
◀ HP : <http://www.skywater.jp/>

## 市民の会のあゆみ

- 1995年 「雨水利用東京国際会議」実行委員会を母体として「雨水利用を進める市民の会」発足、1998年「雨水利用を進める全国市民の会」に改名
- 2003年 「雨水市民の会」に改名（2005年：NPO化）
- 2015年 鳩の街に事務所移転、江戸の天水桶里帰り
- 2016年 つなぐ場づくり「雨カフェ」事務局に開設

### ■雨水会議の開催、共催

- 1994年 「雨水利用東京国際会議」開催
- 1995年 「雨水フェア(墨田区)」開催。以降2001年まで、沖縄、高松、東京などの地域で産官学民による雨水会議を共催で開催
- 1999年 「雨水利用アジアセミナー(生命を救う雨水利用)」開催
- 2003年 「世界水フォーラムin京都(水危機解決の切り札としての雨水)」共催
- 2005年 「雨水東京国際会議(つなごう世界、救おうアジアの水危機)」開催
- 2008年 雨水ネットワーク会議設立、「第1回雨水ネットワーク会議全国大会」開催以降、毎年各地の全国大会開催に支援
- 2009年 「第8回都市排水モデリング及び第2回雨水収集管理合同国際会議」の共同企画及び「開催記念ポスト・イベントー雨水都市国際セッション2009」を開催
- 2014年 「連続講座水の五感ワークショップ〜めぐる・めぐみの水カフェ」共催。2015年実施

### ■国内外の雨水活用支援

- 1995年 阪神淡路大震災で被災地に雨水タンク100基寄贈
- 2000年 雨水利用国際協力事業をバングラデシュにおいて開始以降、スカイウォータープロジェクトとして雨水タンク普及事業を実施
- 2005年 愛・地球博・愛知万博「地球を救う雨水利用」に企画協力
- 2007年 「water」展(21\_21DESIGN SIGHTの企画展)制作に協力
- 2011年 雨活アイデアコンテストをライオン(株)と共催、以降毎年実施
- 2013年 東日本大震災被災地/陸前高田にて「雨水利用事業者の会」と共同支援

### ■受賞

- 2002年 「第4回日本水大賞/大賞」、「東京都環境賞/都知事賞」受賞
- 2009年 「循環・共生・参加まちづくり」環境大臣賞受賞
- 2015年 スイス下水道研究所いるる研究発表大会 ユニークプレゼン「雨水の力は大きいで賞」



「雨の絵本ひろば」



雨水の水質調査



「雨水おもしろ実験」



イベント出展&研究発表

### ●環境学習&研究調査事業

#### ■水の環境学習事業

- 2001年～2016年 すみだ環境ふれあい館運営管理受託。以降、2006年「雨の絵本ひろば」開設 雨の環境学習事業実施。2012年循環の部屋「つながる一む」を企画制作等。
- 2014年～ 武蔵野市水環境連続講座「水の学校」企画運営受託(2015年に当該講座が国土交通省「循環のみち下水道賞」受賞)

#### ■出版

- 1994年 「やってみよう雨水利用」(8ヶ国語に翻訳)
- 2001年 「雨の事典」(英語に抄訳)
- 2008年 「天水活用マニュアル」(日・英・ベンガル語)
- 2011年 「雨の詩集」
- 2013年 Webあまみず(雨水活用情報サイト)配信。
- 2014年 「雨つぶぐるぐるすどころ」(第7回いい川・いい川づくりワークショップ入賞)
- 2015年 「子ども環境ビデオレポート『雨水利用』」(NPO法人気象キャスターネットワーク主催)



## 理事会

2016年7月現在

- 理事長 山本 耕平
- 副理事長 佐原 滋元 / 高橋 朝子 / 松本 正毅
- 事務局長 伊藤 林
- 顧問 高橋裕/東京大学名誉教授  
辰濃 和男(元雨水市民の会会長)  
小山泰正/東邦大学 薬学部名誉教授

## 組織体制

理事会…議決機関 委員会…執行機関

- 総務委員会 事務局運営、会計、理事会等会議の進行など

- 広報委員会 ホームページ  
「Webあまみず」の編集管理



[www.skywater.jp](http://www.skywater.jp)

- 普及啓発事業委員会

雨水活用や雨の文化などの雨の環境学習  
雨と親しむ「アマトササロン」、雨の恵みプロジェクト事業  
地域活動とのタイアップ、環境学習事業の企画運営の受託

- 企画・渉外委員会

各種イベント出展・参加、手作り雨水タンク事業  
バングラデシュでの雨水タンク普及事業、CSR協働  
雨水ネットワーク世話会、雨ツアー事業など



### ●雨水会議・セミナーの開催



「雨水ネットワーク全国大会」

### ●国際協力・支援事業



井戸水がヒ素汚染されているバングラデシュにて  
雨水タンクを普及する活動(スカイウォータープロジェクト)

PR Bangladeshの活動

### ●雨水活用普及事業



出前講座の手作り雨水タンクづくり



企業連携による雨活施設「さかさかさ」設置



### ●雨カフェ



### ●各種イベント/まち歩き



「雨水まち歩き」